

## 平成29年9月（第12回）光市教育委員会会議の要旨

### 1 開催日時

平成29年9月26日（火） 午後2時00分～午後3時30分

### 2 場 所

光市教育委員会 2階会議室

### 3 出席委員

能美教育長、永岡委員、河村委員、寺崎委員、中西委員

### 4 事務局

教育委員会事務局：蔵下教育部長、和田学校教育課長、奥屋学校教育課主幹、弘文化・社会教育課長兼人権教育課長、村崎体育課長、穂山図書館長、太田教育総務課長、清水学校給食センター所長、西村子ども家庭課長、影土井教育総務課経理係長

### 5 教育長報告

- (1) 伊藤公企画展について
- (2) イングリッシュキャンプについて

### 6 議 事

#### (1) 議案及び報告

##### ア 議案第23号 光市立幼稚園の園児募集について

###### (ア) 概 要

光市立幼稚園の再編に伴う園児募集について、本案を提出。

###### (イ) 内 容

平成30年度からの光市立幼稚園の園児募集に関して、やよい幼稚園の1園で行うもの。

###### (ウ) 主な意見や質疑

###### ① 意 見

通園の方法について、バス等での送迎はないと伺っているが、保護者による自家用車での送迎に伴う十分な駐車場は確保できているか。

###### ② 回 答

今年の夏休み期間中に道路に沿って駐車できるよう10台分を新たに造成し、現在13台分を確保している。

###### ① 意 見

入園の手続きについて、書類をインターネット等でダウンロードできるか。

###### ② 回 答

窓口で配布している。

###### ① 意 見

入園申込書等が自宅等で簡単に得ることができる方法について検討をお願いしたい。

**(エ) 議 決**

全員一致で承認される。

**イ 議案第 2 4 号 平成 2 9 年度光市教育委員会選奨の被選奨者について**

**(ア) 概 要**

光市教育委員会選奨規程に基づき、被選奨者を決定するため、本案を提出。

**(イ) 内 容**

光市教育委員会選奨規程に基づき、5名に表彰状及び3名に感謝状を授与する被選奨者について決定するもの。

**(ウ) 主な意見や質疑**

**① 意 見**

表彰状授与の石川さんと感謝状授与の株式会社守田家具さんは、教育委員会事務局の推薦ということか。

**② 回 答**

そのとおりである。

**① 意 見**

選奨について、光市教育委員会選奨規程第 2 条第 4 号における児童または生徒を表彰する事例は過去にあったか。

**② 回 答**

近年の実績においては、該当はない。

**(エ) 議 決**

全員一致で承認される。

**ウ 報告第 3 8 号 平成 2 9 年度全国学力・学習状況調査結果について**

**(ア) 概 要**

平成 2 9 年度全国学力・学習状況調査結果について、事務局より報告。

**(イ) 内 容**

概要のとおり。

**(ウ) 主な意見や質疑**

**① 意 見**

子どもたちの学力の成果については、どのように実感しているか。

**② 回 答**

ティーム・ティーチングなどに取り組んできた結果の成果として、落ち着いて学習できる環境が整ってきた手応えを感じている。

また、学力推進リーダーや学力推進教員が他の学校を定期的に訪問し、授業づくりを一緒に行っている。こうしたさまざまな取組みを通じて、総合的に教員の意識の高まりに繋がってきていると感じている。

「学校全体が安定してきて、子どもたちの『学び』に向かう姿勢が身に付いてきている」という声を教員から聞いている。学力は必ず浮き沈みもあるが、今の取組みを継続していきたいと思う。

①－(1) 意見

学力の向上には、小学校から中学校までのつながりが重要で、小・中学校を訪問した際に、その視点から常に努力されている先生方の姿を見させていただいている。

①－(2) 意見

経年を比較したグラフの数値では、比較的ポイント数が上がっている項目が多く、小学校と中学校でより良い学校生活が送れていることが分かる。子どもたちの成長が数値に現れている。

② 回答

すべての中学校が全国平均より上で、全国平均を下回っている学校は1校もない。よくがんばっていると思う。

エ 報告第39号 平成29年第3回光市議会定例会一般質問要旨について

(ア) 概要

平成29年第3回光市議会定例会一般質問要旨について、教育長より報告。

(イ) 内容

概要のとおり。

(ウ) 主な意見や質疑

① 意見

将来的に小中一貫型の施設を目指すとはあるが、思い切って一校区を選択し、先行して進めていく努力が必要と思う。

本市のコミュニティ・スクールが全国的に評価されているように、2学期制の利点についてももっと情報発信すべきではないか。

② 回答

小中一貫教育に向けた施設整備の取組みについては、今取り組んでいる施設整備との二重投資は避ける必要がある。5つの中学校区を同時期に実施することはできないことから、市長部局とも連携し、保護者や地域の方々の理解を得ながら計画的に実施していくことが必要と考えている。精一杯努力していきたい。

2学期制については、当初、小学校の2学期制が相応しいものかという不安もあった。しかし、例えば、春の連休以後に子どもたちが不安定になる時期があるが、そうした時期にも一人ひとりの子どもにしっかりと向き合えるなどの利点がある。

山口県内では、附属山口小・中学校、附属光小・中学校及び光市だけが2学期制を導入している。導入には教育課程の全てを見直す必要があり、相当な労力を要することから、なかなか広がっていない状況にある。

本市では、コミュニティ・スクールや小中連携教育を充実する中で、2学期制の良さをしっかり取り入れるように考えている。1学期間が長くなり、その間に長期休業が入ることから、「学び」の連続性の視点で長期休業中の「学び」を工夫するサマースクールなどに主体的に取り組んでいる。中学校では40日の夏季休業のうち20日以上学校を開放し、自由に勉強できる環境を用意している学校もある。

小中連携とコミュニティ・スクールの一体的な取組みの中で、2学期制の良さを活かすよう努力したい。

#### ① 意見

コミュニティ・スクールの取組みが学力向上に寄与しているということがあったが、2学期制を導入して12年程度経過し、この取組みも学力向上に寄与していると考えられるか。

#### ②-① 回答

子どもたちが不安定になりやすい長期休業前に一人ひとりの児童生徒としっかり関われる時間が生まれる。また、「学び」の連続性ということで、それぞれの学校がサマースクールの実施を工夫するようになった。そうした面から、総合的に子どもたちの「学び」と「育ち」に2学期制の利点が活かされていると考えている。

#### ②-② 回答

2学期制やコミュニティ・スクールのメリットは何かという視点より、2学期制がありコミュニティ・スクールがあるということが光市のメリットと受け止めている。本市のコミュニティ・スクールはどこよりも進んでいる。連携協働の取組みに2学期制を絡ませていけばさらに効果的になると思う。2学期制のメリット、コミュニティ・スクールのメリット、連携協働のメリットをそれぞれのメリットと捉えるのではなく、そのすべてが繋がりをもちながら、一体的なメリットとして捉え、これからも事業展開していきたいと考えている。

### オ 報告第40号 区域外就学の承認について

#### (ア) 概要

区域外就学の承認について、事務局より報告。

#### (イ) 内容

区域外就学の協議及び申請のあった3名を承認したことについて報告するもの。